

- 1 開催日時 2024年9月3日(火) 13:30~16:00
- 2 開催場所 使用済燃料再処理・廃炉推進機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介(委員長)、山口彰(委員長代理)、井口哲夫、小澤俊朗、
梶川融、齊藤拓巳、佐久間総一郎
出席理事 佐藤敏秀(理事長)、増田博武(副理事長)、板垣雄士、出光一哉、
胡居宏明、河合雅彦、平島暁

4 議事の経過及び結果

(1) 運営委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は14名であった。定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているため、本運営委員会が成立したことを確認した。

(2) 議案審議及び自由討議

【決議事項】

第1号議案 廃炉拠出金年度総額及び拠出金率決定の件

○事務局から、これまでの運営委員会における討議を踏まえて、現時点で日本全体で廃炉に必要と見込まれる費用(総廃炉費用:約3兆円)等を前提とした2024年度の廃炉拠出金年度総額及び拠出金率の決定に関する議案の説明を受けた。委員からは、法令が求める基準との整合性について確認がなされた。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

<添付資料>

[「廃炉拠出金年度総額及び拠出金率」](#)

第2号議案 廃炉推進勘定 2024年度余裕金運用計画決定の件

○事務局から、廃炉推進勘定 2024年度余裕金運用計画案について説明を受けた。委員から議案は長期にわたる運用方針を決定する提案かどうかについて質問があり、事務局から提案の運用ポートフォリオは、今後とも毎年運営委員会に諮っていくものであることを説明した。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

<添付資料>

[「2024年度余裕金運用計画」](#)

【報告事項】

a. 主な業務の執行状況について

理事長から、主な業務の執行状況について報告を受けた。委員から、日本原燃の審査対応に参加している電力会社からの応援要員からプロパー社員への技能継承が重要である旨の意見があった。

<添付資料>

[「主な業務の執行状況」](#)

b. コンプライアンスの推進状況及び業務情報の管理状況について

担当理事から、コンプライアンスの推進状況と業務情報の管理状況について報告を受けた。それらの内容に関して自由討議を行った結果、委員から、コンプライアンスの推進に加え、教育等による職員のモチベーション向上にも留意するようにとの意見があった。

事務局においてこれらの意見等を踏まえた業務運営を行っていくこととした。

c. これまでの業務実績と今後の課題について

事務局から、これまでの業務実績と今後の課題について説明を受け、委員から六ヶ所再処理等施設のしゅん工目標延期に伴い想定される各業務への影響について確認が行われ、今後これらを踏まえた業務運営を行っていくこととした。

d. 使用済MOX燃料再処理実証研究（再処理契約）の対応状況について

（電気事業連合会）

電気事業連合会及び事務局から、使用済MOX燃料再処理実証研究の対応状況について説明を受け、自由討議を行った。委員から、仏再処理施設への輸送容器について許認可上の制約等を再確認する必要があるとの意見、基盤研究と実証研究の連携を効果的に行う必要があるとの意見、今後の契約協議において留意すべき点について意見があった。

これらの意見等を踏まえ、今後、具体的な契約協議及び検討を進めていくこととした。

(3) その他

委員長は、議事概要に記名押印する者として、委員長の他、山口委員長代理及び佐藤理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理・廃炉推進機構

運営委員会

委員長 近藤 駿介 印

委員長代理 山口 彰 印

理事長 佐藤 敏秀 印

以 上